## 【2020年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

科目名			ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等		
理学療法評価学				必修	2	2	前期		
担当教員			研究室	電子メール II	<u> </u>	オフィスアワー			
遠藤 悠介 他			D320						
授美	巻の目的・概要	理学療法評価は、患者のである。身体機能に関 を授業では、理学療法語 価方法に関する動画を	D320 y.endo 水曜日 10:40~12:10 力持つ症状や障害を評価してそれらの情報を分析し、治療方針を立案するために重要する障害を把握する上で、関節可動域、筋力、身体計測に関する評価が重要となる。 評価の意義と目的を理解することを目的とし、一部実践方法を経験する。理学療法評 現聴することや課題学習等を通して理解し、その後、フィードバックとメディアを利理学療法評価の理解を深める。						
学習上の助言解剖学や運動学で学んだ知識を、実際の					を深め、通	適切な評価につ	なげて考える。		
教	教 科 書 理学療法評価学 第 6 版 著:松澤正 他 金原出版 新徒手筋力検査法 第 9 版 著:Hislop HJ 他 訳:津山直一 協同医書出版社								
参	考 書	特になし							
		学生が達成する	べき行動目標			関連卒業認定	· 学位授与方針	-	
1	理学療法評価の意	義、目的について説明で		PT(1), PT(5)					
2		を対象者に説明できる。				PT(1), PT(5)			
3	,	対象者に説明できる。				PT(1), PT(5)			
4	形態測定を対象者	に説明できる。			ŀ	PT(1), PT(5)			
<u>(5)</u>									
0				計 画					
口		学習内容等				学習課題・学習			
	理学療法評価学の	<u>デョウをす</u> 概論について学習する。		1人来の方位		于日际医 于日	[ H ] [H] (H ] [H] )		
1	フィードバックを <sup>を</sup> 学生の意見の交換 「担当:遠藤悠介」	行う方法:学内メールに の機会:学内メールにて 」		印刷教材等での 授業	課題	課題①:理学療法評価の概論 4			
2	フィードバックを	評価の目的を学習する。 行う方法:学内メールに の機会:学内メールにて 」		印刷教材等での 授業	課題(2)・埋字形(4)   日的   1   1				
3	関節可動域の目的を学習する。 フィードバックを行う方法:学内メールにて実施する 学生の意見の交換の機会:学内メールにて受け付ける 「担当:遠藤悠介」						関定の目的	4	
4	フィードバックを	域測定について学習する 行う方法:学内メールに の機会:学内メールにて 」	て実施する	印刷教材等での 授業	課題	課題④:関節可動域測定の方法			
5	手・手指の関節可動域測定について学習する。 フィードバックを行う方法:学内メールにて実施する 学生の意見の交換の機会:学内メールにて受け付ける 「担当:遠藤悠介」  「担当:遠藤悠介」  印刷教材等での 授業 について						)関節可動域測	4	
6	股・膝の関節可動域測定について学習する。 フィードバックを行う方法:学内メールにて実施する 学生の意見の交換の機会:学内メールにて受け付ける 「担当:遠藤悠介」 印刷教材等での 授業 について					<b>月節可動域測定</b>	4		
7	フィードバックを	関節・体幹の関節可動域測定について学習する。 ィードバックを行う方法:学内メールにて実施する 生の意見の交換の機会:学内メールにて受け付ける 中刷教材等での 授業 課題⑦:足・体幹の関節可動域測 定について						4	
8	Teams 上で実施す	: 行う方法:次回授業時 る の機会:Teams 上のチャ	同時双方向型授	¥	事前課題「徒手筋力検査の目的」 を教科書で確認しておくこと。				

## 【2020年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

		肘関節の徒手筋力検査							
			法:次回授業時または	事前課題「肩・肘関節の徒手館					
9		ns 上で実施する			同時双方向型		『の方法』につい	て教科書で確	4
			Teams 上のチャットに	認をしておくこと。					
	「担当:遠藤悠介」								
	手関節・手指の徒手筋力検査について学習する。								
	フィ	フィードバックを行う方法:次回授業時または課題終了後に				事前	事前課題「手関節・手指の徒手筋		
10	Teams 上で実施する 学生の意見の交換の機会: Teams 上のチャットにて受け付ける						力検査の方法」について教科書で 確認をしておくこと。		4
	「担	当:遠藤悠介」							
	股・膝関節の徒手筋力検査について学習する。						事前課題「股・膝関節の徒手筋力		
	フィードバックを行う方法:次回授業時または課題終了後に								
11	Teams 上で実施する						検査の方法」について教科書で確 認をしておくこと。		
	学生の意見の交換の機会:Teams 上のチャットにて受け付ける								
		「担当:遠藤悠介」							
		節・体幹の徒手筋力検							
			法:次回授業時または	は課題終了後に			「課題「足関節・作		
12		ns 上で実施する			同時双方向型		き査の方法」 につい		4
		学生の意見の交換の機会:Teams 上のチャットにて受け付ける				確認	確認をしておくこと。		
	担	当:遠藤悠介」							
	関節	可動域測定の方法の確	Ӗ認、実技を行う。		-#->4-	関節	関節可動域測定の方法の確認、実		
13					講義・実技		践方法の体験を行う。 4		
14		筋力検査の方法の確認			講義・実技		徒手筋力検査の方法の確認、実践 4		
	「担	当:遠藤悠介、池上訪	₹		III-92 7.17	方法	方法の体験を行う。		
	形態	計測の方法の確認、実	美技を行う。		=#: <del>\</del>	形態	形態計測の方法の確認、実践方法		
15	「担	当:遠藤悠介、池上諒	Ī.		潘素・主社		の体験を行う。		
	_								1
試	定期	試験(達成度評価・評	<sup>2</sup> 価のポイント参照)						
	<u> </u>			達成度評価	<del>li</del>				y
			試験	レポート	成果発表	<b>ホ゜ートフォリオ</b>	その他	合計	
		総合評価割合(%)	0	50	0	0	50	100	
		知識・技術力	0	25	0	0	40	65	
		思考・推論・創造す		20	0	0	10	30	
糸	総合	協調性・リーダーシ		0	0	0	0	0	
Î	ii 力	発表・表現伝達する		0	0	0	0	0	
ŧ	力 指 漂	コミュニケーション		0	0	0	0	0	
t t	票		/)	0	U	U	U		
			0	0	0	0	0	0	
		取組みの姿勢・意欲		0 5	0	0	0	0	
1			る力 0	5	0	0	0 0	5	
377	7年七》	取組みの姿勢・意欲 問題を発見・解決す	る力0評価のポイン	5	0	_	0	_	
評	2価方法	取組みの姿勢・意欲 問題を発見・解決す 去 行動目標	る力0評価のポイン	5	0	_	0	5	
	価方法	<ul><li>取組みの姿勢・意欲</li><li>問題を発見・解決す</li><li>去 行動目標</li><li>①</li></ul>	る力0評価のポイン	5	0	_	0	5	
評	4価方法	<ul><li>取組みの姿勢・意欲</li><li>問題を発見・解決す</li><li>法 行動目標</li><li>①</li><li>②</li></ul>	る力0評価のポイン	5	0	_	0	5	
評	董価方法 試験	取組みの姿勢・意欲 問題を発見・解決す 法 行動目標 ① ② ③	る力0評価のポイン	5	0	_	0	5	
評		取組みの姿勢・意欲 問題を発見・解決す 法 行動目標 ① ② ③ ④	る力0評価のポイン	5	0	_	0	5	
計		取組みの姿勢・意欲 問題を発見・解決す 法 行動目標 ① ② ③ ④ ⑤	る力0評価のポイン	5	0	_	0	5	
<u></u>		取組みの姿勢・意欲 問題を発見・解決す 法 行動目標 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥	る力0評価のポイン	5	0	_	0	5	
<u> </u>		取組みの姿勢・意欲 問題を発見・解決す 法 行動目標 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ① ✔	る力0評価のポイン	5	0	_	0	5	
<u></u>		取組みの姿勢・意欲 問題を発見・解決す 法 行動目標 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ① <b>ノ</b>	る力0評価のポイン	5の実施方法と注	意点	0	フィードバ	5	
		取組みの姿勢・意欲 問題を発見・解決す 生 行動目標 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ① ② ② <b>V</b> ②	る力 0 評価のポイン 評価	5の実施方法と注	意点	0	り フィードバ メールや掲示板	5 ベックの方法 、Teams によ	t る
	試験	取組みの姿勢・意欲 問題を発見・解決す 法 行動目標 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ① ✔ ② ✔ 授美 ④ ✔ ② ✔ 授美	る力 0 評価のポイン 評価	5 の実施方法と注 パート課題を実力	意点	0	フィードバ	5 ベックの方法 、Teams によ	t る
	試験	取組みの姿勢・意欲 問題を発見・解決す 法 行動目標 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ① V ② V 授多 ① V ② V 授多	る力     0       評価のポイン       評価       詳価	5 の実施方法と注 パート課題を実力	意点	0	り フィードバ メールや掲示板	5 ベックの方法 、Teams によ	なる
	試験	取組みの姿勢・意欲 問題を発見・解決す 法 行動目標 ① 2 ③ 4 ⑤ ⑥ ① ✓ 2 ③ ✓ 4 ⑤ ⑤ ⑥ ② ✓ 7 ③ ✓ 7 ⑤ ⑥ ② 7 ⑥ ③ 7 ⑥ ③ 7 ⑥ ⑥ ② 7 ⑥ ③ 7 ⑥ ⑥ ③ 7 ⑥ ⑥ ⑥ 9 ⑥ ⑥ 9 ⑥ 9 ⑥ 9 ⑥ 9 ⑥ 9 ⑥ 9 ⑥ 9 ⑥	る力     0       評価のポイン       評価       詳価	5 の実施方法と注 パート課題を実力	意点	0	り フィードバ メールや掲示板	5 ベックの方法 、Teams によ	t る
	試験	取組みの姿勢・意欲 問題を発見・解決す 法 行動目標 ① ② ③ ③ ④ ⑤ ⑥ ① ✔ ② ✔ ③ ✔ ⑤ ⑥ ① ✔ ② ✔ ③ ✔ ⑤ ⑥ ⑥ ① ✔ ② ₽	る力     0       評価のポイン       評価       詳価	5 の実施方法と注 パート課題を実力	意点	0	り フィードバ メールや掲示板	5 ベックの方法 、Teams によ	t る
	試験	取組みの姿勢・意欲 問題を発見・解決す 法 行動目標 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ② ✓ ② ✓ Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø	る力     0       評価のポイン       評価       詳価	5 の実施方法と注 パート課題を実力	意点	0	り フィードバ メールや掲示板	5 ベックの方法 、Teams によ	なる
L	試験	取組みの姿勢・意欲 問題を発見・解決す 法 行動目標 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ② ✓ ✓ ⑤ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥	る力     0       評価のポイン       評価       詳価	5 の実施方法と注 パート課題を実力	意点	0	り フィードバ メールや掲示板	5 ベックの方法 、Teams によ	t る
L	試験	取組みの姿勢・意欲 問題を発見・解決す 法 行動目標 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ② ✓ Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø	る力     0       評価のポイン       評価       詳価	5 の実施方法と注 パート課題を実力	意点	0	り フィードバ メールや掲示板	5 ベックの方法 、Teams によ	t る
L	試験	取組みの姿勢・意欲 問題を発見・解決す 法 行動目標 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ① ✔ ② ✔ Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø	る力     0       評価のポイン       評価       詳価	5 の実施方法と注 パート課題を実力	意点	0	り フィードバ メールや掲示板	5 ベックの方法 、Teams によ	t る
L	試験	取組みの姿勢・意欲 問題を発見・解決す 法 行動目標 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ② ✓ Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø Ø	る力     0       評価のポイン       評価       詳価	5 の実施方法と注 パート課題を実力	意点	0	り フィードバ メールや掲示板	5 ベックの方法 、Teams によ	t る

## 【2020年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

	1			
	2			
+° 17,114	3			
ホ゜ートフォリオ	4			
	(5)			
	6			
	1	>		
	2	>		
その他	3	>	授業内容に関連する小テストを実施し、達成度評価を行う(50%)。 評価割合は達成度評価を参照すること。	メールや掲示板、Teams による
その他	4	>	評価割合は達成度評価を参照すること。	フィードバックの実施
	5			
	6			

担当教員:◎遠藤悠介、池上諒

教員の実務経験:大学病院、介護老人保健施設、大学等で7年の勤務経験

**実践的授業の内容**:臨床現場で使用する機会の多い評価方法について教示するとともに、13-15 回目の授業では実際の症例に基づいた評価方法の工夫点なども加えた実践的な指導を行う(身体を触知しやすいジャージ、T シャツ等の服装で授業に参加することが望ましい)。

**感染対策**:本授業では大学が公表している感染対策及び教員が示す授業方法を厳守する。感染対策を遵守できない学生は面接授業の参加を認めない。

**遠隔授業:** Teams (Microsoft 社) を用いた同時双方向型授業を実施する。本授業は通信容量が無制限のインターネット回線の使用を強く推奨する。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、シラバス変更の可能性があることに留意してほしい。